

墨東五区サッカーエキジビション大会要項

- 【主催】一般財団法人葛飾区サッカー協会・足立区サッカー協会・墨田区サッカー協会・江戸川区サッカー連盟
江東区サッカー連盟
- 【主管】江東区サッカー連盟
- 【後援】江東区・葛飾区・足立区・墨田区・江戸川区・同スポーツ協会・葛飾区教育委員会
公益財団法人東京都サッカー協会
- 【日程】2024年11月3日・10日・17日・24日（各日曜日） ※雨天決行
- 【会場】江東区新砂運動場 サッカー場 第一運動場 第二運動場
- 【種別】(1) 中学の部 (2) 少女の部 (3) 女子の部 (4) 女子シニアの部
(5) 壮年の部 O-40 (6) 壮年の部 O-50 (7) 壮年の部 O-60
- 【大会形式】各区代表1チームの最大5チーム総当たりリーグ戦
- 【競技規則】(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則 2023/24」に準じる。
- 【メンバー表】①毎試合メンバー表記載選手人数は、20名以内とする。試合ごと出場選手の変更は可能とする。
②毎試合メンバー表記載役員人数は、5名以内とする。試合ごと記載役員の変更は可能とする。
③メンバー表には、出場選手の登録Noと背番号の両方を記載するものとする。
- 【審判】審判は、各区帯同の2024年度(公財)日本サッカー協会有資格者とする。
中学の部は主審1・副審2・4審1の4人制とする。
他のカテゴリーは、主審1・副審2の3人制とし4審は各運営本部が代行する。
- 【順位決定】リーグの勝敗は、勝点制とする。勝「3」引分「1」負「0」 勝点同数の場合 得失点差・総得点差・直接対戦の勝の順で決定する。それでも決着がつかない場合は、同順位とする。
- 【表彰】中学・少女の部の部は賞状とメダル 女子の部・レディースシニアの部・壮年の部は賞状のみとする。
カテゴリーごと最終試合の後に表彰式を行う。1位2位3位チームは最低1名の参加とする。
- 【懲罰】反則による退場者及び警告累積2回以上の者は、最低次の試合出場は認めない。なお、その後の処理については規律委員会で決定する。
- 【中止試合】どちらかのチームの帰責による試合中止は、帰責チームの0-3不戦敗とする。
- 【参加費】種目ごとに5,000円とし、申込み確認後に合計金額の振り込み請求を主催区より発行します。
請求書記載振込先へ期日までに振り込みしてください。
- 【申込み】各区役所を経由し、10月4日(金)までに指定書式にて下記にて申込み受付をする。
同時に事前選手登録(指定書式)を提出する。(プログラムに掲載)
登録選手数は上限40名とする。提出後の変更は別途規定する。
江東区健康スポーツ公社 亀戸スポーツセンター 担当 檜崎鉄馬 t-narazaki@koto-hsc.or.jp
〒136-0071 東京都江東区亀戸8-22-1 TEL 03-5609-9571 FAX 03-5609-9574
- 【選手登録の変更】申込時提出後の登録の変更はメール提出締め切り11月1日(金) 下記アドレスまで、
用紙提出締め切りは各区最初の試合の監督会議までにグラウンド本部に1部を提出する。
メール提出先 江東区サッカー連盟運営部深津あて fukatsu729@ybb.ne.jp
- 【その他】(1) 大会中のけが等については、応急処置は致しますがその後の責任は負いかねます。チームごとに
保険加入し対応してください。なお、けがをした場合の通院を考えて参加者は必ず健康保険証
を持参するようにしてください。
(2) 対戦のユニフォーム確認は、可能な限り試合日以前に調整するものとする。

- (3) 貴重品などは各自の責任で管理すること。
- (4) 本大会期間中にこの要項にない問題が発生した場合、各区理事長相互の協議により決定する。

(3) 中学の部大会要項（補足）

《参加資格》各連盟・協会に登録の中学生であること。

《大会形式》各区代表1チームの最大5チームの11人制総当たりリーグ戦とする。

《試合球》（公財）日本サッカー協会公認5号球を使用。

《競技細則》①試合時間は60分（インターバル5分）とし、勝敗の決しないときは引分けとする。

②ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記された役員5名と（事前に選手登録されている）交代選手9名を含め上限14名以内とする。

③メンバー表は Kickoff 20分前までにグラウンド本部に2部提出し、10分前にメンバーチェック・用具チェックを受ける。

④選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。（1回に複数人交代可能）

⑤主審・副審2名・第四審判の4名は、Kickoff 40分前までにグラウンド本部に審判証を提示し審判確認事項に従い事前打ち合わせを実施してください。

⑥Kickoff 30分前に運営本部による監督会議をグラウンド本部にて実施する。

監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他1名まで・審判4名とする。両チーム監督は、FP・GKのユニフォームを持参すること。

監督会議終了時に説明理解・確認のために確認シートに全員自筆署名し記録する。

《ユニフォーム規定》ユニフォーム規定の一部に緩和措置を適用する。

◎選手の用具

第1条 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

2 正・副の2色については明確に異なる色とする。

3 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

4 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(4) 少女の部大会要項（補足）

《参加資格》各連盟・協会に登録の小学生女子であること。少年の部との重複登録は不可とする。

《参加チーム数》各区代表1チームの最大5チームとする。

《大会形式》各区代表1チームの最大5チームの8人制総当たりリーグ戦方式

《試合球》 (公財)日本サッカー協会公認 4 号球を使用。

《競技細則》①試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗の決しないときは引分けとする。

②ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記された役員 5 名と（事前に選手登録されている）交代選手 12 名を含め上限 17 名以内とする。

③メンバー表は Kickoff 15 分前までにグラウンド本部に 2 部提出し、5 分前までにメンバーチェック・用具チェックを受ける。

④選手交代は、自由交代とする。交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。

⑤審判は、主審・副審 2 名の 3 人制で行う。運営本部が第 4 審判を代行する。

⑥審判 3 名は、Kickoff 30 分前までにグラウンド本部に審判証を提示し
審判確認事項に従い事前打ち合わせを実施してください。

⑦Kickoff 20 分前に運営本部による監督会議をグラウンド本部にて実施する。

監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判 3 名とする。

監督会議終了時に説明理解・確認のために確認シートに全員自筆署名し記録する。

《ユニフォーム規定》ユニフォーム規定の一部に緩和措置を適用する。

◎選手の用具

第 1 条 本競技会に登録した 1 着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2 着以上の持参が好ましい。）

2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる（ビブス等も可）。

3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(5) 女子の部大会要項（補足）

《参加資格》各連盟・協会に登録の女子中学生以上であること。女子シニアの部との重複登録は可とする。

《参加チーム数》各区代表 1 チームの最大 5 チームとする。

《大会形式》8 人制の総当たりリーグ戦方式

《試合球》 (公財)日本サッカー協会公認 5 号球を使用。

《競技細則》①試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗の決しないときは引分けとする。

②ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記された役員 5 名と（事前に選手登録されている）交代選手 12 名を含め上限 17 名以内とする。

- ③メンバー表は Kickoff 15 分前までにグラウンド本部に 2 部提出し、5 分前までにメンバーチェック・用具チェックを受ける。
- ④選手交代は、自由交代制とする。(回数制限なし) 交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。
- ⑤審判は、主審・副審 2 名の 3 人制で行う。運営本部が第 4 審判を代行する。
- ⑥審判 3 名は、Kickoff 30 分前までにグラウンド本部に審判証を提示し
審判確認事項に従い事前打ち合わせを実施してください。
- ⑦Kickoff 20 分前に運営本部による監督会議をグラウンド本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判 3 名とする。
監督会議終了時に説明理解・確認のために確認シートに全員自筆署名し記録する。

《ユニフォーム規定》ユニフォーム規定の一部に緩和措置を適用する。

◎選手の用具

- 第 1 条 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- 2 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- 3 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- 4 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- 5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- 6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- 7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(6) 女子シニアの部大会要項（補足）

- 《参加資格》各連盟・協会に登録の 30 歳（24 年 11 月 1 日現在）以上の女子であること。女子の部との重複登録は可能とする。
- 《大会形式》各区代表 1 チーム最大 5 チームの 8 人制の総当たりリーグ戦方式
- 《試合球》（公財）日本サッカー協会公認 4 号球を使用。
- 《競技細則》①試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗の決しないときは引分けとする。
- ②ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記された役員 5 名と（事前に選手登録されている）交代選手 12 名を含め上限 17 名以内とする。
- ③スライディングタックルは禁止とし、反則した場合直接 FK で試合再開する。反則場所がゴールエリア内の場合、PK で試合再開する。
- ④メンバー表は Kickoff 15 分前までにグラウンド本部に 2 部提出し、5 分前までにメンバーチェック・用具チェックを受ける。
メンバー表には、出場選手の登録 No と背番号の両方を記載するものとする。
- ⑤選手交代は、自由交代とする。(回数制限なし) 交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。
- ⑥審判は、主審・副審 2 名の 3 人制で行う。

⑦審判3名は、Kickoff 30分前までにグラウンド本部に審判証を提示し

審判確認事項に従い事前打ち合わせを実施してください。

⑧Kickoff 20分前に運営本部による監督会議をグラウンド本部にて実施する。

監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他1名まで・審判3名とする。

監督会議終了時に説明理解・確認のために確認シートに全員自筆署名し記録する。

《ユニフォーム規定》ユニフォーム規定の一部に緩和措置を適用する。

◎選手の用具

第1条 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が好ましい。）

2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる（ビブス等も可）。

3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(7) 壮年の部大会要項（補足）

《参加資格》各連盟・協会に登録の以下年齢条件以上であること。

① O-40 40歳以上（24年11月1日現在）

② O-50 50歳以上（24年11月1日現在）

③ O-60 60歳以上（24年11月1日現在）

壮年の部は各年齢条件を満たしていれば重複登録は可能とする。

《参加チーム数》カテゴリーごとに各区代表1チームの最大5チームとする。

《大会形式》総当たりリーグ戦方式 O-40及びO-50は11人制 O-60は8人制とする。

《試合球》（公財）日本サッカー協会公認5号球を使用。

《競技細則》① 試合時間は40分（インターバル5分）とし、勝敗の決しないときは引分けとする。

② ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記された役員5名と（事前に選手登録されている）交代選手9名を含め上限15名以内とする。

O-60のみ役員5名と（事前に選手登録されている）交代選手12名の最大17名とする。

③ スライディングタックルは禁止とし、反則した場合直接FKで試合再開する。反則場所がゴールエリア内の場合、PKで試合再開する。

④ メンバー表はKickoff 15分前までにグラウンド本部に2部提出し、5分前にメンバーチェッ

ク・用具チェックを受ける。

- ⑤ O-40・O-50の選手交代は、再交代制とする。(回数制限なし)

O-60のみ自由交代制とする。(回数制限なし) 交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。

- ⑥ 審判は、主審・副審2名の3人制で行う。

- ⑦ 審判3名は、Kickoff 30分前までにグラウンド本部に審判証を提示し

審判確認事項に従い事前打ち合わせを実施してください。

- ⑧ Kickoff 20分前に運営本部による監督会議をグラウンド本部にて実施する。

監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他1名まで・審判3名とする。

監督会議終了時に説明理解・確認のために確認シートに全員自筆署名し記録する。

《ユニフォーム規定》ユニフォーム規定の一部に緩和措置を適用する。

O-40 O-50◎選手の用具

1 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

2 正・副の2色については明確に異なる色とする。

3 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

4 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

O-60の選手の用具

1 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)

2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。

3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもと、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。